



## 長寿の祝福に笑顔で応える

岩淵カツヨさんが百寿を迎える

11月8日、岩淵カツヨさん(17区)が満100歳の誕生日を迎えました。自宅に集まった子どもやひ孫らが見守る中、青木町長から花束と記念品の贈呈を受けました。

岩淵さんは、家で身の回りのことは自分でい、自宅周辺の草むしりも行うなど元気に毎日を過ごしています。岩淵さんは「100歳になれてとてもうれしい。みんなに集まっていたいてありがたい」とうれしそうに話し、たくさんの祝福に笑顔で応じていました。



## 元気いっぱいに謡を披露

ひらいずみ芸術文化祭

第46回ひらいずみ芸術文化祭が11月2日と3日の両日、平泉小学校などを会場に開催され、町民による作品展示をはじめイベントや体験コーナーなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

開会式は町立幼稚園ホールで行われ、関係者や園児代表によるテープカットで文化祭の開幕を祝いました。式に続き行われた謡では、同幼稚園と平泉保育所の年長児37人が大きな声で保護者らに披露していました。



## 利用者に寄り添うように話を聞く

人権相談交流会

11月12日、介護老人保健施設さわなり苑で利用者約70人を対象に人権相談交流会を開催。町内の舞踊団体「砂っ子の会」による「夢音頭」などの舞踊6演目が披露されると、利用者は音楽に合わせて手拍子をし、手や足を動かしながら、美しく力強い舞に魅了されていました。

その後、和やかな雰囲気の中、人権擁護委員4人が利用者一人一人に日常の困り事や体調などについて声を掛け、寄り添うように話を聞いていました。



## 地方自治の振興と発展に貢献

佐々木さんが町村監査功労者として受賞

全国町村監査委員協議会主催の町村監査功労者表彰式が東京都のメルパルクホールで行われ、本町議会選出監査委員の佐々木雄一さん(9区)に同協議会長から町村監査功労者として表彰状が贈られました。

佐々木さんは、平成20年4月から本町の議会選出監査委員を務めており、多年にわたり監査事務に尽力されるとともに地方自治の振興と発展に貢献された功績が認められ、今回の受賞となりました。



## 町民の声を町政へ反映させる

平泉町の明日を考えるカフェ&トーク

11月7日、町民にまちづくりへの関心を高めてもらうことで積極的な参画をすすめるワークショップとして「平泉町の明日を考えるカフェ&トーク(町民会議)」(平泉のまちづくりを考える会主催)が、役場で開かれました。

第1回会議となるワークショップには同会員や一般町民合わせて35人が参加。参加者は4つのグループに分かれて、「コミュニティ」「安全・安心」「福祉」「教育・社会教育」のテーマに沿って、町の課題について意見を交わしていました。



## いきいきむらづくり部門賞を受賞

竜ヶ坂中山間地域等直接支払交付金制度取扱組織

11月19日、2019年度一関地方農林業振興大会(一関地方農林業振興協議会主催)が一関市東山町の東山地域交流センターで開かれました。この大会は農林業者の生産意欲を喚起するとともに農林業の一体的な振興を目指して毎年開催されており、会場には関係者約280人が出席。長島地区の竜ヶ坂中山間地域等直接支払交付金制度取扱組織が、竹林整備事業を通じてより良い地域づくりを進めていると高く評価され、いきいきむらづくり部門賞を受賞しました。



## 職人の巧みな技を間近で体感

オープンファクトリー「五感市」

11月8日から11日の4日間、平泉、奥州、一関の3市町を会場に開催されたものづくりの現場を公開する「オープンファクトリー『五感市』」。昨年に続き2回目の開催で、県南地方の各企業の魅力を連携して全国に発信するため、今年は工場や工房など23事業所が参加しました。

このうち町内にある翁知屋では初日からツアー客らが多数訪れ、伝統工芸の秀衡塗の普段は見ることができない作業風景などを見学し、その巧みな技を体感していました。

